



# 大林商業活動事業組合設立のご案内



## なぜ事業協同組合か？

- 行政支援が受けられる
- 活動場所が限定されない
- 個店の一体感が生まれる
- 運営コストを抑えられる
- 地域内商店の仲間はずれ感が解消できる

現在大林町内では「大林ヒルズ商店街」「大林町ウェストタウン発展会」のみが機能し、それ以外の店舗は行政支援等の補助施策等を授受出来ない環境です。個々の組織の壁を越えた事業協同組合を設立する事で、大林地域内であればどこでも共同事業が行え、活動のための支援策を受ける事が可能になります。

## 適応する店舗は？

- 大林町内に店舗がある
- 現状を変えたい気持ちがある
- 組織としてのパワーに期待したいと考えている
- 大林ヒルズ(振)加盟店
- ウェストタウン(発)加盟店
- その他の地域内店舗

再び商店街の一体感を生み出し、地域内商店全体での活性化を図る



## 組織概要

- 大林町内の各商店街加盟店や非加盟店の垣根を越えた組織体制を作る
- 各商店街の横の繋がりを生み出し、事業活動を行うための組織です。
- 事業活動の中心は、個店にメリットが生まれる事業を誘致・実施することです。
- 個店の事業補助申請手続きのサポートも行っていきます。
- 加盟時出資金15000円/人 (初回のみ、退会時返却、他 規定有)
- 組合費は大林ヒルズ商店街(振)加盟店1000円/月、非加盟店2000円/月

## 運営体制

- 定期的に役員会を行い、事業活動内容を決めていく
- 役員会での決定事項を元に事業を行う
- 定期的に総会を行い、役員改選や組織としての方向性などを定める
- 執行部 (設立委員会)
  - 板倉昌英 (フードセンターいたくら)
  - 竹山澄夫 (サッポロラーメン大林)
  - 石神常美 (はせ川 大林店)
  - 中田紀子 (フードセンターいたくら)

- 大林町内の個店は小出資で参加できる
- 資本の大小に関わらず発言権が一定
- 町内であれば場所を問わず活動できる
- 事業によって、既存商店街と当組合の事業住み分けが可能になる

■ 中小企業者が互いに協力し、助け合う精神(相互扶助の精神)に基づいて協同で事業を行い、経営の近代化・合理化と経済的地位の改善向上を図るための組合です。組合は組合員の事業を支援・助成するための事業ならば、ほとんどすべての分野で実施できます。組合の設立も4人以上集まればよく、気心の合う同じニーズを持った事業者だけで比較的自由に設立でき、中小企業者にとって非常に設立しやすい組合として広く普及している、最も代表的な組合です。従来は同業種の中小企業で設立するケースがほとんどでしたが、最近では、異なる業種の事業者が連携して事業協同組合を設立し、各々の組合員が蓄えた技術、経営のノウハウなどの経営資源を出しあって新技術・新製品開発、新事業分野・新市場開拓などを目指すものが増えています。(愛知県中小企業団体中央会 出典)

## 組織化するメリット

## 事業協同組合とは？